

## 感染制御チーム主催 模擬吐物処理研修会 を開催しました！

平成 29 年 2 月 13 日(月)、20 日(月)、24 日(金)の 3 回、感染制御チーム主催により、職員（委託職員含む）を対象に、嘔吐物処理の実務研修を開催しました。



病棟や外来など、院内各所に吐物処理セットを備え付けていますが、必要な時に処理方法が分からないとセットを使えないということで、年に 1 回、模擬吐物を使って、処理方法を相互に研修しあう機会を設けています。

今回の研修には、看護師、看護補助者、検査技師、理学療法士、作業療法士、事務員や清掃員など、15 部署から延べ 83 名の多職種のスタッフが参加し、熱心に研修していました。

个人防护具（PPE）の着脱について、日頃、使用する機会が多い職種であっても、手順が誤っていたりすることがあったので、再確認する意味でも、良い研修になったのではないかと思います。



また、模擬吐物には蛍光塗料を混ぜて実施したので、吐物の飛沫の飛散状況や、処理者への吐物の付着状況などを実際に視覚的に確認することができ、処理対応時の参考になったようです。

冬場になると流行する感染性胃腸炎の主たる原因となるノロウイルスは、適切に処理をしないと感染拡大をもたらしてしまいます。この研修の成果を日常業務へも活かし、感染対策に努めてまいります。



（札幌中央病院 感染制御チーム）